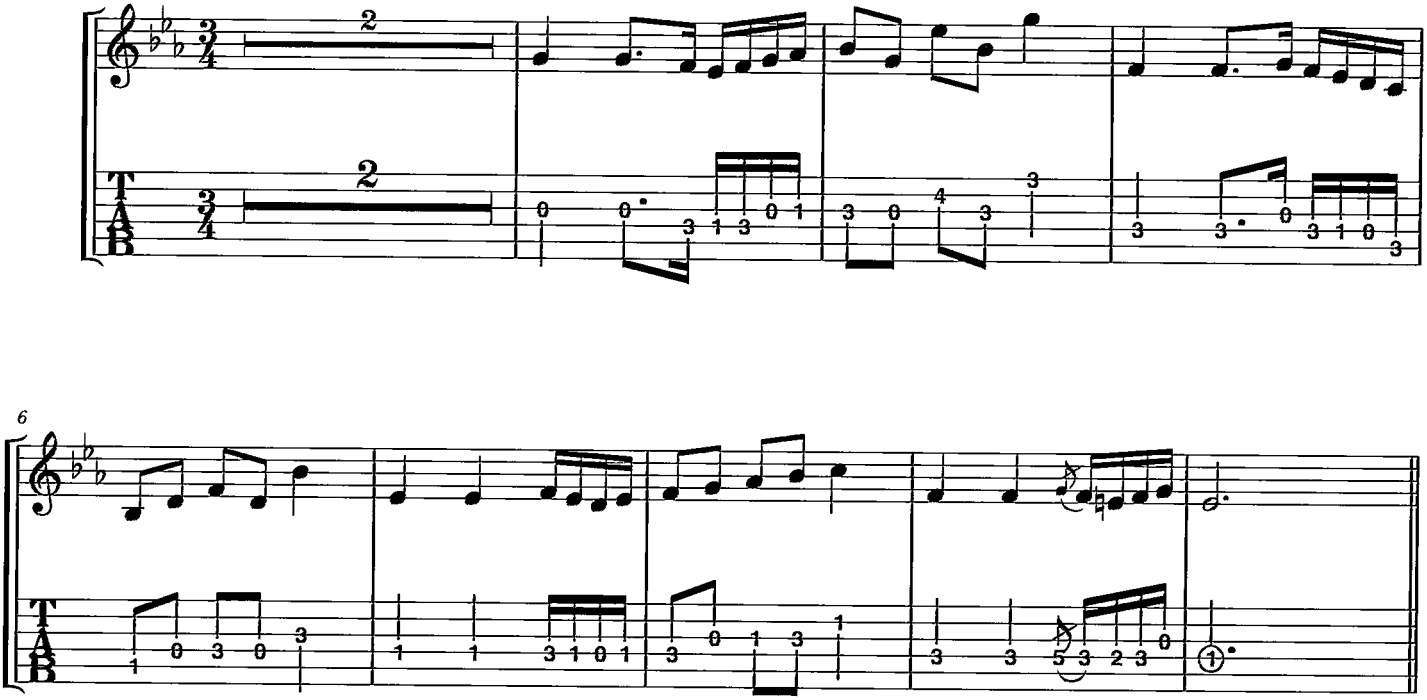
14 『アルルの女』より 間奏曲

Intermezzo ~"L'Arlésienne"

G. ビゼー ⊙ Georges Bizet

(1838年10月25日パリ、フランス～1875年6月3日ブージヴァル、フランス)

ビゼーは19世紀の作曲家で、天才でした。36年の短い生涯の中で、約16ものオペラを中心に、管弦楽曲、ピアノ曲、合唱曲など、多くの作品を残しましたが、中でも『アルルの女』『カルメン』『美しきパースの娘』は傑作です。『アルルの女』の「間奏曲」は有名ですね。原曲はフルートですからフルートを演奏する人は一度は吹いているでしょう。

メロディーは流れるように美しく、アルルという土地も牧歌的だし、こんな曲を楽しんで弾けたらいいですね。ローポジションで弾けるようにしましたが、フルートやクラリネットは♭が多くつくものですからミ、シ、ラが出てきたら注意してください。でも♭の良い練習だと思って弾いてください。これで弾けると、オリジナルのオーケストラのCDとも合わせられます。余裕がある人は、1オクターブ上げて弾くといいですね。